

令和4年産

仙台麦作情報

2022. 3. 25 第4号

宮城県仙台農業改良普及センター

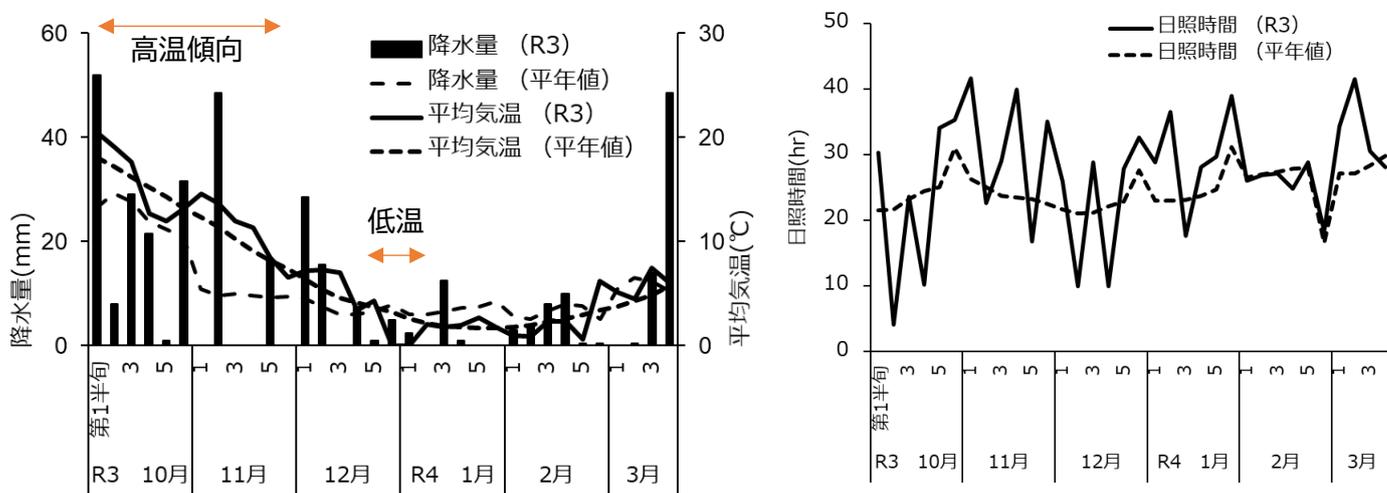
Tel 022-275-8410 Fax 022-275-0296

<http://www.pref.miyagi.jp/site/sdnk/>

今後の栽培管理におけるポイント

- ①適期追肥の実施 ②排水状況の確認 ③茎葉処理剤による雑草防除

1 気象経過（10月第1半旬～3月第4半旬，仙台アメダス）



○麦生育・栽培管理への影響

- ・播種後～12月中旬までは平年に比べ気温は高い傾向でしたが、年末年始は低温となりました。
- ・12月から2月にかけて、降水量は多くないものの雪の日が続きほ場に雪が残ったことで、麦踏みが難しい場合が多々ありました。
- ・4月に入ってから、高温多照傾向のため、生育が進んでいくと考えられます。

2 大麦生育調査結果 (3月18日現在)

- ・ 茎数：仙台市では、ホワイトファイバー、シュンライのいずれも 950 本/m²程度を確保しており、今後4月中旬頃を目安に、栄養状態を維持するため追肥が必要です。
大和町では、降雨により播種が遅れたため、前年を下回る 300 本/m²程度となりました。
- ・ 幼穂長：仙台市では、いずれの品種も 2mm を超えており、幼穂形成期を迎えました。
大和町では、1mm の幼穂が確認され、幼穂形成始期を迎えました。
- ・ 仙台市のほ場において、下葉の黄化が見受けられました。
- ・ 仙台市と大和町のほ場において、鳥による食害が見受けられました。
- ・ 播種が適期に行われたほ場では、4月中旬に減数分裂期、4月下旬に出穂期、4月末～5月頭に開花期を迎えると考えられます。

表 生育調査ほにおける生育調査結果 (令和4年3月18日調査)

品種	ほ場	条間(cm)	播種時期		草丈(cm)		茎数(本/m ²)		幼穂長(mm)	
			本年	前年差	本年	前年比(%)	本年	前年比(%)	本年	前年差
ホワイトファイバー	大和町落合	34.1	11月1日	+14	6.6	43	302	25	1.0	-1.8
	仙台市宮城野区	26.0	10月24日	+6	12.5	121	956	98	2.3	-0.1
シュンライ	仙台市宮城野区	25.2	10月22日	+2	12.1	92	982	78	2.5	-1.2



大和町ホワイトファイバー



仙台市ホワイトファイバー



仙台市シュンライ

3 今後の栽培管理

①適期追肥の実施

下記の表に従って適期に追肥しましょう！

特に、播種が遅れて生育量が少ないほ場では、幼穂形成期の追肥をしましょう！

表 追肥の目安

追肥の種類 (生育ステージ)		幼穂形成期 (幼穂長2～3mm)	減数分裂期 (幼穂長30mm)	穂揃期 (8～9割が出穂)
目的		有効茎歩合増加 (穂数の確保)	一穂粒数の増加 登熟良化	小麦の子実タンパク質 含有率の向上
大麦	時期(目安)	3月中旬	4月中旬	硬質麦防止のため 実施しない
	10a当たり 施用量	窒素成分2～2.5kg (硫安10～12kg)	窒素成分2～2.5kg (硫安10～12kg)	
小麦	時期(目安)	4月中旬	4月下旬	5月上～中旬
	10a当たり 施用量	窒素成分2～2.5kg (硫安10～12kg)	窒素成分4～5kg (硫安20～25kg)	窒素成分2～2.5kg (硫安10～12kg)

※時期はおおよその目安です。実際には、ほ場の幼穂長を確認し、追肥時期を判断しましょう。

※大豆後のほ場では、生育旺盛の場合を除き、規定量の追肥を行っても問題ありません。

○幼穂形成期の追肥

- ・効果→穂数の増加
- ・麦類は幼穂長が2mmを超える頃から茎立ちし、幼穂や節間の伸長が急激に進むため、この頃の窒素栄養状態の悪化は有効茎歩合の低下を招きます。
- ・生育量が少ない(茎数400本/m²以下)、湿害等で色が淡い、鳥による食害が多い等の場合は、幼穂形成期を迎えたら速やかに追肥を行いましょう。
- ・幼穂形成期に追肥を行う場合、減数分裂期の追肥も合わせて行いましょう。

〔 追肥量が多すぎると倒伏の原因となるので、適期・適量施用に努めましょう。〕

②排水状況の確認

- ・融雪や降雨によるほ場の停滞水を速やかに排出することが重要です。排水が十分でない場合、湿害が生じやすくなります。

[出芽後期～分けつ期]に湿害が及ぼす影響→浅根、分けつの減少、葉の黄化

[節間伸長期～出穂]に湿害が及ぼす影響→弱小分けつの枯死、穂数の減少、穂の縮小化

- ・「暗きよの再点検(閉じていないか)」や「明きよの手直し」を行いましょう。

③茎葉処理剤による雑草防除

雑草の発生状況に応じて、除草剤（茎葉処理剤）の散布を検討しましょう。



雑草防除の際の注意

- ・幼穂形成期及び節間伸長期を過ぎると使用できる除草剤が少なくなるので、生育を確認して適期に使用しましょう。
- ・散布後、薬剤が乾かないうちに雨が降ると、薬剤が流れ落ちて効果が劣るため天候に注意して作業しましょう。
- ・薬剤の対象雑草が限られているので、優先雑草を把握し、目的に合ったものを使用しましょう。

○1ヶ月予報（3/20～4/18，仙台管区气象台 3月17日発表）

期間の前半は気温の変動が大きいでしょう。寒気の影響を受けにくいいため、向こう1ヶ月の気温は平年並みか高い予報です。

3/19～3/25	低気圧や寒気の影響で曇りの日が多く、期間のはじめは雪または雨の降る日があるでしょう。気温は低い見込みです。
3/26～4/1	天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多い見込みです。気温は高い見込みです。
4/2～4/15	天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多い見込みです。気温は平年並か高くなる見込みです。